

# S.F.A.通信 第19号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

平成25年3月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

## S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

### ◆漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」として和歌山県知事が認定しています。

現在は122名の漁業士が地域漁業の担い手として活躍しています。

### 和歌山県漁業士連絡協議会

会員相互の連絡調整や交流資質向上を目的に、平成元年に発足しました。

年1回の総会の他、他府県との交流会の開催、魚食普及活動、部会での活動などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

## ～漁業士認定～

平成25年2月4日(月)、ダイワロイネットホテル和歌山において、「農業士・グリーンワーカー・漁業士認定式」が行われ、以下の9名の方が漁業士に認定されました。

### 青年漁業士

- 市川 諒さん(加太漁協)
- 中野 洋平さん(湯浅湾漁協)
- 尾崎 勇介さん(湯浅湾漁協)
- 松村 崇弘さん(紀州日高漁協)
- 津呂 貴之さん(和歌山南漁協)
- 内海 州さん(和歌山南漁協)
- 船野 保さん(和歌山東漁協)

### 指導漁業士

- 久保 一樹さん(湯浅湾漁協)
- 小畑 耕一郎さん(湯浅湾漁協)



知事、県議会議長と共に記念撮影

## ～知事感謝状～

平成24年度和歌山県農業士・グリーンワーカー・漁業士認定式において、指導漁業士として永年にわたりご活躍された4名の方々に対し、和歌山県知事から感謝状が贈呈されました。

知事感謝状贈呈者

中村 喜久子さん（西脇漁協）

寺脇 寛治さん（海南市漁協）

濱端 雅彦さん（戸坂漁協）

植野 典男さん（和歌山南漁協）



知事、県議会議長と共に記念撮影

## ～わかやま食と健康フェア～

平成24年10月28日（日）、和歌山市のパームシティ和歌山店で開催された「わかやま食と健康フェア」へ漁業士連絡協議会のブースを出展しました。一般の消費者が普段食べているアジやサバがどのような漁法で獲られているかについて模型や漁具を展示して紹介しました。



まき網漁業を紹介した展示ブース

## ～魚食普及活動～

漁業士連絡協議会では、今年度も魚食普及活動に力を入れて取り組みました。本会で2回（御坊市立御坊中学校、県立はまゆう支援学校小学部・中学部）、有田地区部会で1回（有田川町立石垣小学校）、まき網部会で2回（御坊市立塩屋小学校・日高川町立寒川第一小学校、県立はまゆう支援学校中学部・高等部）の計5回開催しました。

子供たちに大人気の「チリメンモンスターを探せ！！」や「お魚タッチ体験」のほか、初めての試みとして「マルアジの干物作り体験」にもチャレンジしました。



マルアジの干物作り体験（御坊中学校）



お魚タッチ体験（はまゆう支援学校） チリモン探し（塩屋小学校・寒川第一小学校）



チリモン探し（石垣小学校）



しらす丼作り（はまゆう支援学校）

## ～全国漁業士連絡会議～

平成25年2月27日(水)、全国の漁業士が一堂に会し、情報交換を行う連絡会議が水産庁において開催され、本県からは塩谷会長が出席しました。会議の冒頭、水産庁長官より「漁業の厳しい現状を打開するため、漁業士が中心になって浜の活性化を図って欲しい」との挨拶がありました。その後、各ブロックの代表者より今年度の活動状況について報告があり、今後の漁業士活動について意見交換を行いました。



会議の様子



水産庁長官の挨拶

## ◆◆◆ 部会情報 ◆◆◆

### ～～船びき網部会～～

平成25年1月29日(火)、大阪府漁業協同組合連合会へ視察研修に行ってきました。ここ数年、船びき網漁業が対象とするしらすの水揚げは減少傾向にあります。大阪府では、漁業者が積極的に操業規制を定めるなど資源管理の先進地となっており、その背景にある考え方を学ぶべく訪問することにしました。

当日は、青漁連の役員が対応してくれました。彼ら曰く、大阪府の漁業者には、「資源管理は単なる我慢ではない」が共通認識になっているとのことでした。それは、操業対収入に対する高い意識をもち、長期的には資源管理が操業コストの軽減や値崩れ防止による売値の安定をもたらすという面を理解していることによるそうです。操業対収入に対する意識の持ち方は学ぶべきところが大きかったです。今回の視察内容は、寄合会はじめ広く紹介し、資源管理の普及に役立てていきたいです。



紹介用に内容をまとめた資料



帰りには鮮魚市場も見学

## ～～有田地区部会～～

平成25年2月5日（火）～6日（水）の2日間、愛知県へ視察研修に行ってきました。1日目は、西三河漁業協同組合の高度衛生管理型水産物荷捌き施設を見学させていただきました。担当者の話では、施設の完成後に魚の単価が3割値上がりした魚種もあるとのことで、改めて品質管理の重要性を認識しました。2日目は、人気の直売施設「網元直売魚太郎」を訪問し、販売品目や価格帯、来客層などを視察しました。今回の視察内容は、今後の市場施設整備や鮮魚販売イベントを行う際の検討材料として活用していきたいと考えています。



荷捌き施設の視察



網元直売魚太郎の視察

## ～～まき網部会～～

平成24年10月23日（火）、和歌山南漁協漁村センターで部会会議を開催しました。普段は異なる船団で操業している漁業士が集まり、操業状況について情報交換を行いました。また、水産試験場研究員による勉強会を併せて開催し、「浮魚類に係る資源の動向やマルアジの産卵場推定に係る調査結果」について説明を受けました。

平成24年11月5日（月）、魚食普及活動に先立って水産教室を開催しました。御坊立塩屋小学校と日高川町立寒川第一小学校の生徒42名に対し、まき網漁船の構造や作業設備について説明し、まき網漁業への理解を深めてもらいました。



部会会議



水産教室

## 浜便り ～北から南から～

### 紀州日高漁協「港の朝市」

日高振興局 山田普及指導員

平成25年2月24日（日）、御坊市の塩屋漁港で「港の朝市」が開催されました。

この取組みは平成23年5月から、漁家所得の向上、後継者育成そして消費者に紀州日高の水産物をPRする目的で組合事業として毎月第4日曜日に開催されており、まもなく3年目を迎えます。

毎回多くのお客さんが来場しており、そのほとんどが地元のリピーター客で、地元のイベントとしても浸透しつつあります。

また、今回の朝市では振興局の「地域ひと・まちづくり補助事業」を活用しポスターやチラシ、販売台を新たに購入し、販売拡大にも意欲的に取り組んでいます。

この日は、まき網やひき縄などで水揚げされたピンチョウマグロやアジ、サバ、ヒラメ、スルメイカなどの鮮魚のほか、サバの開きや釜揚げしらす、ウツボの唐揚げや衣奈そだち（わかめの佃煮）などの加工品が販売され、1時間程度でほとんどが売れてしまいました。

今後は、さらなる鮮魚や加工品の品揃えの拡大、農産物など水産物以外の出展を促進し、朝市のスケールアップを図り、集客度の向上と観光資源化を図りたいと考えています。



2月24日の朝市の様子

# ◆◆◆ われら漁業士 ◆◆◆

## 地域漁業の担い手として

和歌山東漁業協同組合那智支所  
青年漁業士 舩野保

今年2月に、青年漁業士に認定され、漁業士連絡協議会に入会しました舩野です。

私は10代の時から漁業の世界に飛び込んで、現在は漁師歴15年目の32歳で、漁業生活には慣れましたがまだまだ修行中です。漁業形態は、ひき縄漁業とイセエビ刺網、採貝漁業など、その季節に応じた漁業を営んでいます。

平成24年度からは所属漁協である和歌山東漁協那智支所の支所長に就任し、初めてで慣れないながら、漁協の経営にも関わっています。

私の漁業活動の拠点である那智地域は、年々漁業者が減少しており、特に地域漁業の担い手となっていく青年漁業者が少ない状況となっています。漁業者の減少の問題は、どこの地域でも起こっている事と思いますが、このような状況になると、漁業者間の交流や団結の重要性がより高まっていくと思います。

那智地域の漁業の担い手として、孤立しないよう、また多くの他地域の漁業者と交流し、情報の交換と共有ができる場を求めて、漁業士連絡協議会に入会しました。この会を通じて、いろんな方と話が出来たら嬉しいです。よろしくをお願いします！



### お問い合わせ先

県庁水産振興課	073-441-3000	田中普及指導員
海草振興局企画産業課	073-441-3372	井川普及指導員
有田振興局企画産業課	0737-64-1286	南普及指導員
日高振興局企画産業課	0738-24-2946	山田普及指導員
西牟婁振興局企画産業課	0739-26-7910	伊勢田普及指導員
東牟婁振興局企画産業課	0735-21-9604	横濱普及指導員